

自  
指  
す  
ゴ  
ル  
が  
あ  
る  
つ  
て、  
素  
敵  
だ。

YAHIKO MOUNTAIN SKYLINE



# 新潟 ヒルクライム 大会記録集



# これまでのあゆみ

## 第1回大会 (2013年)

- ・新潟ヒルクライム初開催。
- ・弥彦山スカイライン間瀬口～弥彦山山頂駐車場 (5.3km)。
- ・地元岩室温泉街におけるパワーランチを新設。
- ・岩室温泉入浴券を配付。



## 第2回大会 (2014年)

- ・参加カテゴリーにシニアの部やタンデムを設置。



## 第3回大会 (2015年)

- ・スタート地点をいわむろや付近 (樋曾交差点前) に変更し、コースを延長 (7.6km)。

- ・コース延長に伴い、参加費を引き上げた。
- ・チャンピオンカテゴリーを廃止。
- ・男性カテゴリーの年齢範囲を変更。



## 第4回大会 (2016年)

- ・車種の範囲を広げるため、フリーのカテゴリーを新設。



## 第5回大会 (2017年)

- ・中学生以上 (7.6km) と小学生 (5.3km) のスタート位置を変更し、コース距離を分けた。
- ・小学生伴走のカテゴリーを新設。



## 第6回大会 (2018年)

- ・弥彦競輪場における1マイルTTを新設し、2日間の開催となった。
- ・2DAYSレース総合表彰及びヒルクライム、1マイルTT単独表彰を設定。



## 第7回大会 (2019年)

- ・大会初の冠スポンサーとして、新潟ケンベイ協賛による「新潟ケンベイ PRESENTS 2019新潟ヒルクライム」を開催。

・1マイルTTを開催した。

- ・新潟ケンベイのブース出展で、おにぎりの振る舞いあり。



## 第8回大会 (2020年)

- ・コロナ禍において新しい生活様式に沿った運営。

・3密回避のため、開閉会式や表彰式は未実施。

- ・カテゴリー混合30人パックでの時差スタート。下山は対面通行で個々に走行。



## 第9回大会 (2021年)

- ・中止  
(新型コロナウイルス感染症)



## 第10回大会 (2022年)

- ・居住地制限なしで大会再開。
- ・開閉会式や表彰式は未実施。
- ・結果速報を専用HP上のみ掲載に変更。



## 第11回大会 (2023年)

- ・中学生と小学生のスタート位置を統一し、同距離 (7.6km) で開催。

- ・物価高騰等の影響により参加費を引き上げた。



## 第12回大会 (2024年)

- ・1マイルTTを開催した。
- ・パワーランチや温泉入浴券をオプション形式とし、参加費を引き下げた。
- ・降雨により、閉会式と表彰式を中止した。
- ・ロゴマークを変更。



# 大会の概要

# 大会の思い出

## 1. 開催目的

自転車を有効に活用しながら市民の健康維持・増進を図るとともに、壮大な越後平野や日本海など風光明媚な新潟の魅力を再確認し、交流人口の拡大に寄与する。

## 2. 主催・協力

### ●主催：新潟ヒルクライム実行委員会

●協力 弥彦競輪／（公財）新潟市スポーツ協会／（公財）新潟市開発公社／岩室温泉観光協会／NPO法人いわむろや／弥彦観光索道株式会社／新潟県自転車競技連盟／新潟県サイクリング協会／新潟市サイクリング協会／新潟市スポーツ推進委員連盟

●後援 新潟日報社／朝日新聞新潟総局／毎日新聞新潟支局／読売新聞新潟支局／共同通信社新潟支局／時事通信社新潟支局／NHK 新潟放送局／BSN 新潟放送／NST 新潟総合テレビ／TeNY テレビ新潟／UX 新潟テレビ21／FM 新潟77.5／エフエム角田山ぽかぽかラジオ

## 3. 開催時期・会場

●開催月：毎年8月下旬～9月上旬

●会 場：  
〈ヒルクライム〉 新潟市岩室観光施設いわむろや付近など  
〈1マイルTT〉 弥彦競輪場

## 4. 開催場所・コース概要

### 〈ヒルクライム〉

急勾配でありながら全国的には距離が短いコース特性から、男女問わず幅広い層のサイクリストが参加しやすいコース。主に市内・県内のサイクリストが約7割を占め、リピーターも多い大会。権曾交差点付近路上～弥彦山スカイライン間瀬口～だいら坂～山頂付近

(コース総長：約7.6km 標高差：約520m 平均勾配：約5.5%)

(コース総長：約5.3km 標高差：約420m 平均勾配：約7.9%) ※2013年及び2014年は弥彦スカイライン間瀬口付近スタート

### 〈1マイルTT〉

弥彦競輪場が使用できる場合に数回実施。バンク内の走行は傾斜があるため、初心者には難しいが非日常感を体験できる。ホルダーによる静止スタートから弥彦競輪場4周回の個人タイムトライアル

## 5. 過去参加者数

●初 回 2013年：263人

●最多人数 2016年：505人

第1回開催2013年の約263名から、2016年には500名を超える過去最多の505名の参加を記録した。2019年には約490名と過去最大規模で推移。その後、2020年以降はコロナ禍による中止や縮小を経て、近年は250～300名規模の開催となり、市内参加者数は減少傾向であったものの、市外からの参加割合は6割を超えていた。

2013年～2014年 コース図



## ■第1回大会 (2013年)



## ■第2回大会 (2014年)



# 大会の思い出

2015年～2024年 コース図



## 第5回大会 (2017年)



## 第3回大会 (2015年)



## 第4回大会 (2016年)



## 第6回大会 (2018年)



# 大会の思い出

## ■第7回大会 (2019年)



## ■第8回大会 (2020年)



## ■第10回大会 (2022年)



## ■第11回大会 (2023年)



## ■12回大会 (2024年)



池田看板	クサマ自転車	Sagami Cycle	こばりサイクル	TREK
クサマ自転車	FINS	SAGAMI RACING	さいくるびとB&S	サカモト
池田看板	SAGAMI RACING	Sirius GYM	さいくるびとB&S	TREK
NICHINAO	FINS	生瀬スポーツ	サカモト	自転車 カレッジ

# 実績と記録

## 1 エントリー状況

開催年	エントリー者数 合計 (定員)	市 内	県内市外	県 外	競技2日間参加※ (定員)	競技のみ (定員)	ファンライド (定員)
2013	263 (500)	167	63.5%	74	28.1%	22	8.4%
2014	330 (500)	190	57.6%	114	34.5%	26	7.9%
2015	496 (500)	252	50.8%	180	36.3%	64	12.9%
2016	505 (600)	237	46.9%	203	40.2%	65	12.9%
2017	486 (600)	230	47.3%	185	38.1%	71	14.6%
2018	437 (600)	197	45.1%	171	39.1%	69	15.8%
2019	493 (630)	172	34.9%	137	27.8%	83	16.8%
2020	436 (600)	140	32.1%	126	28.9%	170	39.0%
2021 (中止)	350 (400)	165	47.1%	185	52.9%	0	0.0%
2022	292 (650)	111	38.0%	125	42.8%	56	19.2%
2023	239 (600)	87	36.4%	97	40.6%	55	23.0%
2024	250 (600)	80	32.0%	101	40.4%	69	27.6%

※競技2日間参加のうち、1日は1マイルTTを実施

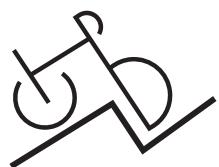
## 2 おもてなし実績

- ◇岩室温泉・情熱パワーランチ
- ◇岩室温泉入浴券
- ◇岩室温泉旅館組合女将部による歓迎挨拶・表彰プレセンター
- ◇ゲストライダーに「鈴なり妖怪 木下友梨菜」選手の起用、じゃんけん大会
- ◇入賞賞品（日本酒、米、めで鯛ザー、岩室せんべいなどの詰め合わせ）
- ◇冠スポンサー（新潟ケンベイ）によるおにぎり振る舞い
- ◇地元キッズダンスチーム「いわねダンス部」アトラクション

## 3 歴代記録

ヒルクライム (5.3km)			
大会記録 田崎 友康 16分12秒 (2013)			
カテゴリー	記 録	カテゴリー	記 録
チャンピオン (区分なし)	16分12秒 (2013)	女性MTB (高校生以上)	62分30秒 (2013)
男 性 (高校生～45歳)	17分57秒 (2014)	男子中学生	20分32秒 (2014)
男 性 (46歳～59歳)	19分33秒 (2014)	小学生 (4～6年生)	24分07秒 (2014)
男 性 (60歳～)	24分04秒 (2014)	小学生 (1～3年生)	27分15秒 (2020)
女 性 (中学生以上)	23分25秒 (2014)	タンデム	27分15秒 (2014)
男性MTB (高校生以上)	20分41秒 (2014)		
最年少 8歳、最年長 73歳			
ヒルクライム (7.6km)			
大会記録 中川 真也 21分50秒 (2022)			
カテゴリー	優 勝 者	居 住 地	記 録
男 性 (高校生～29歳)	橋 本 友 哉	新潟県上越市	22分53秒 (2022)
男 性 (高校生～39歳)	平 岩 明	新潟県新潟市	23分30秒 (2016)
男 性 (30～39歳)	宮 城 嗣 秀	埼 玉 県	22分16秒 (2019)
男 性 (40～49歳)	中 川 真 也	石 川 県	21分50秒 (2022)
男 性 (40～59歳)	佐 藤 忍	新潟県魚沼市	23分32秒 (2016)
男 性 (50～59歳)	佐 藤 純	新潟県新潟市	24分37秒 (2020)
男 性 (60歳以上)	村 山 利 男	神 奈 川 県	25分53秒 (2020)
男 性 (中学生)	阿 部 賢 明	新潟県長岡市	25分22秒 (2017)
女 性 (中学生～39歳)	水 谷 彩 奈	新潟県長岡市	28分22秒 (2019)
女 性 (40歳以上)	栗 原 裕 美 子	群 馬 県	27分56秒 (2023)
小 学 生 (4～6年生)	植 松 大 晃	群 馬 県	30分19秒 (2023)
小 学 生 (1～3年生)	長 谷 川 想 祐	新潟県長岡市	45分13秒 (2024)
フ リ エ	海 口 秀 幸	新潟県新潟市	26分54秒 (2016)
最年少 6歳、最年長 81歳			

1マイルTT			
大会記録 上野 鳩斗 1分51秒 (2019)			
カテゴリー	優 勝 者	居 住 地	記 録
男 性 (高校生～29歳)	上 野 鳩 斗	新潟県新潟市	1分51秒 (2019)
男 性 (30～39歳)	早 福 進	東 京 都	1分59秒 (2024)
男 性 (40～49歳)	中 川 真 也	石 川 県	1分58秒 (2022)
男 性 (50～59歳)	山 口 良 彰	群 馬 県	1分58秒 (2024)
男 性 (60歳以上)	川 岸 弘 昌	富 山 県	2分09秒 (2019)
男 性 (中学生)	大 出 匠	群 馬 県	2分12秒 (2019)
女 性 (中学生～39歳)	水 谷 彩 奈	新潟県長岡市	2分09秒 (2022)
女 性 (40歳以上)	佐々木 裕 美	新潟県新発田市	2分27秒 (2024)
小 学 生 (4～6年生)	天 野 昇 穏	新潟県新潟市	2分41秒 (2019)
小 学 生 (1～3年生)	長 谷 川 想 祐	新潟県長岡市	2分58秒 (2024)
フ リ エ	田 中 強	新潟県新潟市	2分10秒 (2022)



*Niigata Hill Climb*

新潟ヒルクライム実行委員会